

2022 January

Vol.79



広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター <https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>
〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代)



■ CONTENTS ■

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| ■ 院長年頭のあいさつ…………… 2 | ■ 大竹中学校よりメッセージボードをいただきました…9 |
| ■ 泌尿器科紹介…………… 3 | ■ 院内保育所クリスマス会…………… 9 |
| ■ コメディカル紹介【臨床工学技士】…………… 5 | ■ 患者図書室から…………… 10 |
| ■ 第74回広島医学会総会にて論文奨励賞を受賞しました…6 | ■ 栄養士のつぶやき④…………… 11 |
| ■ 特定行為研修を終えて…………… 7 | ■ 地域医療連携室実績報告…………… 11 |
| ■ 特別支援学校コロナ感染症についての講義、感染対策チェック…8 | ■ 外来診療担当医表…………… 12 |

病院理念「患者さんと共に」

■ 基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■ 「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター
「にっしーくん」



広島西医療センター 2022年 年頭のごあいさつ

院長 奥谷 卓也



令和4年（2022年）明けましておめでとうございます。

皆さん新年を迎え、気持ちを新たにされていることと思います。今年こそは、平穏で安心して過ごせる年になってほしいと願い、新年をお迎えになられた方が多いと思います。

去年は、全世界がコロナ禍で、あらゆる人々が大きな被害を受け不安を抱え、今も、はっきりとした出口が見えていない状況です。そのような中でオリンピック・パラリンピックが日本で開催されました。選手・関係者のみなさん、ありがとうございました。ただ、今回の大会、選手たちの活躍に、それなりに感動を覚えました。が、突き抜ける感情が湧いて来なかったのはわたしだけではなかったと思います。みんなで一緒に大声を上げて歓喜を交わせる時が一刻も早く戻ることを願うばかりです。

当院の診療に関しては、入院・外来ともほぼ通常の状態に戻ってきております。

受診をためらっておられた方も最近では、普通に受診されるようになりました。これは、地域の皆様に当院が認められ、頼っていただいている現れであり、地域医療への貢献度を反映しているものと思います。ただ、依然として感染のリスクは続いておりますので、慎重な感染防御を行っていくことに変わりはありません。

当院は、地域医療支援病院、災害拠点病院、救急告示病院、へき地医療拠点病院、難病医療拠点病院、在宅療養後方支援病院などのさまざまな機関指定を受けており、地域の中核病院として地域社会に必要とされる医療の提供を続けるよう努力してきました。

去年は看護師特定行為研修病院として、初めての修了生を輩出し、教育研修機関としての新たなページを追加することが出来ました。

病床の稼働率はこの2～3年は90%を超え、経営的にも安定しております。

毎年、国立病院機構では、独自の病院評価が行われており、経営の効率性・成長性・健全性・診療の質・臨床研究・教育・地域貢献など医療に関するさまざまな項目について、評価されています。当院は、例年高い評価を受けておりますが、昨年度（令和2年度）も、非常に高い評価をいただくことができました。

今後は、地域のための（市民）病院であることを継続しつつ、さらに社会に適應できるよう、特化した機能を取得していくことが病院の存続のためには必要かも知れません。

その他、院内外に新たな可能性を見つけ出し、当院ならではの「挑戦」を皆さんと一緒に展開したいと思っております。

広島西医療センターが安定した水平飛行を続けるためには、常に先を見通し上に向かう揚力が必要なことを、今回改めて認識しました。

これからも地域医療の強力な担い手として、「患者さんと共に」安全・安心な医療の提供をお約束すると同時に、職員がみんな「元気で幸せに」働き、過ごしていけるよう努めてまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

泌尿器科 紹介

泌尿器科 統括診療部長 浅野 耕助

【はじめに】

泌尿器科は主に腎臓から膀胱、尿道に続く尿路と、精巣（睪丸）、前立腺などの男性生殖器の病気を専門とする診療科です。身近な病気では、腎盂腎炎、膀胱炎などの尿路感染症や、排尿・蓄尿障害を起こす前立腺肥大症、過活動膀胱、また血尿や腹痛の原因となる腎・尿管結石症を扱います。また腎臓がんや膀胱がん、前立腺がんなどの高度な専門的治療を必要とする悪性腫瘍に対しては、病巣を取り除く手術治療や抗がん剤などを投与する化学療法も行っています。また、副腎の外科的治療、男子不妊症、尿路の生まれつきの奇形、女性のいわゆる子宮脱などの骨盤内臓器脱なども扱います。



広島西医療センターはこれらの病気の治療に精通した泌尿器科専門医が常駐し、入院・手術治療・化学療法が可能な近隣地区には数少ない施設の1つです。

【尿路感染症の治療】

腎盂腎炎や膀胱炎などの原因のほとんどは細菌感染によるもので、症状の軽いときは抗生物質の内服で通院治療が可能です。高熱が出て食事がとれない場合や、尿路結石症などに合併した尿路感染症では、全身状態を考え入院して点滴加療が必要となるケースもあります。

【排尿・蓄尿障害の治療】

排尿の勢いが弱くなった、尿が出始めるまでに時間がかかる、出し終わっても残った感じがするなどの排尿障害は高齢の男性に多く、前立腺肥大症や脳血管障害・糖尿病による神経の異常が原因となります。また尿の回数が多くなった、尿意を催したら我慢が難しい、トイレまでもたずに尿が漏れてしまうなどの蓄尿障害も高齢になるにつれて多くなり、いずれも日常生活に支障をきたす深刻な症状です。泌尿器科ではこれらの良性の病気に対して、水分の過剰な摂取や嗜好品・刺激物の取りすぎにならないよう生活指導をした上で、症状を緩和する薬剤を投与します。それでも症状が改善しない場合は、前立腺肥大症が原因であれば尿道からの内視鏡手術を、失禁のある蓄尿障害では膀胱粘膜にボツリヌス菌毒素を注入する手術を行い、良好な成績を上げています。

【尿路結石症の治療】

腎盂や尿管などの尿の通り道に結石が詰まることで起こる尿路結石症は、多くが強い腹痛・腰背部痛に血尿を伴い、救急車を要請するほどの激しい症状に見舞われることがあります。このような患者さんが来院した場合、泌尿器科では即時に座薬や注射で痛み止めを施し、疼痛が軽くなってからレントゲン検査、血液検査などの検査を行い診断します。サイズが5ミリメートル未満の小さな結石は自然に尿と一緒に出てくることが期待できるため、痛み止めの投与で様子をみます。それより大きな結石の場合、尿道からの内視鏡手術で小さく砕いて摘出したり、衝撃波というエネルギーを体外から照射して小さく砕いて除去す

る手術を行います。

尿路結石は一度治療して完治しても、夏場の脱水や、結石の成分となるシュウ酸（コーヒーや緑茶、ホウレン草などに多い）の取りすぎで再発することが多く、十分な水分摂取、適切な食事などの生活指導とともに定期検診を受けることが望ましいです。

【尿路悪性腫瘍の治療】

尿路の悪性腫瘍（がん）も他の臓器と同様、外科的に摘出する手術、放射線の照射、抗がん剤などを投与する化学療法、分子標的薬治療、がん免疫療法に用いる免疫チェックポイント阻害剤をそれぞれ単独が組み合わせて治療します。また男性ホルモン（アンドロゲン）の影響で病気が進行する前立腺がんには、精巣や副腎からのアンドロゲンの分泌を抑える薬を投与する内分泌療法があります。手術では従来の開腹手術に代えて、おなかに鉗子や内視鏡を差し込む小さな穴を開けて臓器を摘出する腹腔鏡手術を行っています。出血が少なくメスを入れる創（キズ）も小さいため体に優しい手術です。また小さな膀胱がんは尿道からの内視鏡手術で切除します。抗がん剤や近年進歩が著しい分子標的治療薬を投与する化学療法は、より少ない副作用で治療効果が高くなるよう、最新のガイドライン（治療指針）に沿って行います。投与する薬の種類によっては外来通院での治療も可能です。また、これらの標準治療では十分な効果がみられなくなった場合、病状によりがんゲノム医療拠点病院への橋渡しもいたします。

【年間の治療実績】

外来患者数…約6,500人、入院患者数…約200人

主な手術件数…尿路悪性腫瘍（腹腔鏡＋経尿道）：約70件

尿路結石（経尿道＋体外衝撃波）：約90件

前立腺肥大症（経尿道）：約15件



【おわりに】

排尿などの症状で悩んでいる方は比較的多いのですが、泌尿器科を受診することを“恥ずかしい”と思うのが普通だと思います。しかし毎日の排尿障害による苦痛は想像以上にストレスとなり、夜間にトイレに通う途中、転倒して骨折などの危険性も高まります。トイレでの不安や症状がある方は勇気を出して泌尿器科を受診してみてください。治療や指導により快適な生活が送れるよう、我々泌尿器科スタッフがお手伝いします。



コメディカル紹介

医療機器整備室(臨床工学技士)

臨床工学技士 石 藏 政 昭

現在、医療機器整備室では臨床工学技士5名が業務に従事しています。

私たちは、病院内で使用されている様々な医療機器の管理及び操作を行っているのですが、この度はその内のいくつかを御紹介したいと思います。

①血液浄化センターでの業務



当院では2021年7月から血液浄化センターを開設しました。その中で、透析装置の操作や、治療中の観察・介助を行っています。



また、血液浄化センターの器械室では治療に必要な『透析液』という物を作成しています。『透析液』は、無菌で不純物が含まれていない程、治療の質を良くなるため、これらの管理も行っています。

②人工呼吸器の管理業務

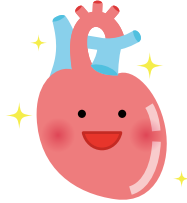
当院では、110台以上の人工呼吸器が毎日稼働しており、それらの管理・点検を行っています。当院の特徴としては、テレビのドラマなどで見えるような人工呼吸器とは違い、小型で移動が可能な物が多い事です。

人工呼吸器は、生命に関わる器械なので、日頃から安全で適切に使用されているかの点検が必要です。



③心臓カテーテル室での業務

心臓カテーテル室では心臓の血管や心機能の検査・治療を行っています。その中で、臨床工学技士は多用途測定記録装置（通称：ポリグラフ）やIVUS（血管内超音波検査）などの操作や、検査・治療の介助を行っています。また、検査・治療に必要な医療材料の準備等にも関わっています。



心カテ室

④血液内科での業務

私たちは、血液内科で行われる移植にも関わる事があります。『末梢血幹細胞採取』という治療では、『体外循環』といって患者さんの血液を体外に取り出して行うのですが、特殊な器械を使用するため、その管理を私たち臨床工学技士が担っています。



末梢血幹細胞採取



その他にも多くの医療機器があり、それらの点検・整備を行っています。これからも、医療機器が安全に使用されるように努めていきます。

第74回広島医学会総会にて論文奨励賞を受賞しました

総合診療科 西 河 求

2021年当院での初期研修時、医学誌・広島医学vol.74.No.4.2021に「冠動静脈瘤が主原因と考えられた高齢者慢性心不全の1例」という表題で論文投稿をさせていただき、今回の受賞となりました。論文作成には当院循環器内科 藤原仁先生、末田隆先生、山下ケアクリニック山下久幾先生、JA広島総合病院心臓血管外科 濱本正樹先生に多大なご協力をいただき、完成となった論文でした。諸先生方誠にありがとうございました。



第七十四回
広島医学会総会

とき 令和3年11月14日(日)
ところ 広島県医師会館

2021年度看護師特定行為研修修了式を終えて

看護師特定行為研修センター 研修指導主事 山 田 都



2021年6月に看護師特定行為研修センターを開講し研修生3名が入講しました。7か月間、切磋琢磨し12月27日に無事研修を終えることができました。

共通科目では講義や演習を通して、身体を統合的に判断するための基礎知識や特定行為実践における一連のプロセスを学びました。また、区分別科目の臨床実習では、想像した以上に緊張し医療行為をしている姿を見て、「ガンバレ」と心で応援していました。

日々、忙しく大変苦勞をしたと思いますが、3名ともコツコツ頑張ったからこそ修了のこの日を迎えることができたと思います。

これから研修生3名は、それぞれの施設に戻り特定行為研修修了者として、活動に取り組むことになると思います。その中で、患者さんに苦痛がなく、安全に処置が行えるよう研修の学びを今後の活動に活かし、看護師だからこそできる患者の背景や気持ちに寄り添い看護の専門性をさらに発揮することを期待しています。



広島西特別支援学校で「新型コロナウイルス感染症対策」研修会を行って

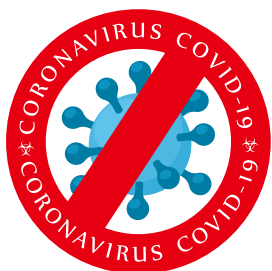
感染管理認定看護師 林 谷 記 子



研修会

るため感染対策が重要です。そのため、病院と学校が協力して新型コロナウイルス感染症対策に取り組む必要があると考え依頼を受けました。当日は体育館で行いましたが、30名近くの先生方の参加があり、マスクの正しい装着方法や、手指衛生の重要性、当院でコロナ患者が発生した場合の想定されるゾーニングや隔離対策などについて説明しました。また、新しい生活様式として出勤前の健康チェック、休憩や食事中の飛沫対策、環境整備について確認を行いました。学校内ラウンドを行い環境等の確認をした結果、定期的な清掃や加湿器の消毒・乾燥、教室で密にならない対策、職員室での換気や飛沫予防のパーティションを設置されており、新型コロナウイルス感染症対策に取り組まれていると分かりました。

世界的にはオミクロン株に置き換わり、いつ日本でも市中感染が起きてもおかしくない状況にあると考えます。新型コロナウイルス感染症は無症状でも他の人にうつす可能性がある為、何時、何処から入ってくるか分からない場合があります。医療従事者として日頃からマスクの装着、手指衛生、人にうつさない行動を意識し、患者さんが安全に授業を受けることができるよう、職員や先生にも必要な情報を提供し、感染対策を実践できる研修会を引き続き取り組んでいきたいと思ひます。



ラウンド中

大竹中学校よりメッセージボードをいただきました

管理課 庶務係 井上 雄 亮

令和3年11月30日、大竹市立大竹中学校美術部の皆様に訪問いただき、「感謝」と書かれた素敵なメッセージボードと「医療従事者の方々が新型コロナウイルス感染症と必死に闘っているニュースを見て、美術部の4名で製作しました。展示していただけると嬉しいです。これからもお体を大事に頑張ってください。」と心温まるメッセージを頂きました。

頂いたボードや言葉を励みに、今後も患者さんに安心して利用いただける医療を提供できるよう、日々の業務に取り組んでいきたいと思ひます。



たけのこ保育園でクリスマス会を行いました

管理課 庶務係 井上 雄 亮



令和3年12月24日、院内保育所たけのこ保育園にてクリスマス会を行いました。

どの園児たちもサンタさんからクリスマスプレゼントを貰い、とても嬉しそうな様子でした。

この行事に参加した子供達の心に少しでも良い思い出として残ってくれば、職員一同大変嬉しく思います。



またこの笑顔が見られるよう、当院では来年もより一層日々の業務に励んでいきます。



患者図書室から



—お正月におすすめの絵本—



一年の始まり「お正月」。現在では、昔ながらのお正月を過ごす家庭は少なくなってきました。おせち料理、干支や七福神など、お正月に関するものにはどれも意味や由来があります。古くから大切に受け継がれてきた文化や習慣は、子どもたちにも伝えていきたいですね。

とは言うものの、大人でも“アレ、どうだったっけ？”と戸惑うことも。そんな時、心強い味方が絵本。難しいことも、分かりやすく教えてくれますよ。

お正月を絵本で楽しく学びましょう。いくつかおススメの絵本を紹介します。



「おばあちゃんのおせち」 野村 たかあき 作・絵 佼成出版社

きりちゃんが初めておばあちゃんのおせち作りを手伝うことになりました。一緒にお買い物をして、料理の手順やおせちのいわれも教えてもらいます。

家族で迎える昔ながらのお正月が、とてもなつかしい……。



「十二支のはじまり」 いもと ようこ 文・絵 金の星社

12種類の動物は、どのようにして決まったのか。ねこ年は、なぜない？ねこがねずみを追っかけるのは、どうして？十二支の由来が分かります。

“子（ね）→丑（うし）→寅（とら）→卯（うさぎ）→辰（たつ）→巳（み）→午（うま）→未（ひつじ）→申（さる）→酉（とり）→戌（いぬ）→亥（いのしし）”の順番

今年は**寅年**！



「どんぶらどんぶら七福神」 みき つきみ 文 柳原 良平 画 こぐま社

どんぶら♪どんぶら♪。宝船がやって来ました。乗っているのは七福神。楽しい数え歌で、七福神を紹介します。

“七福神って、どれも似ていて、よく分からない”そんなあなたに、見分け方をちょこっと紹介♪

①恵比寿・・・鯛と釣り竿を手に持っている。



②大黒天・・・打ち出の小槌と大きな袋を持っている。

大黒天の持つ打ち出の小槌はひと振りですべての金運を上げると言われる。



③毘沙門天・・・よろいを着て、槍のような武器を持っている。
武道の神様として有名。



④弁財天・・・羽衣を着て琵琶を弾いている。
七福神の中で唯一の女性。



⑤福祿寿・・・巻物を手に持ち、長い頭とヒゲが特徴。鶴と一緒に。



⑥寿老人・・・巻物と桃を手に持ち、鹿と一緒に。



⑦布袋・・・着物がはだけていて太鼓腹。
大きな袋と扇を手に持っている。



皆さまの、2022 年が幸せでありますように！



* 新しい年を迎えて *

あけましておめでとうございます。今年も「栄養士のつぶやき」をよろしくお願いいたします。

ポツリポツリと栄養に関するお話をつぶやいていきたいと思っています。

皆さま、新年をいかがお過ごしでしょうか？

年末から年明けにかけて、忘年会、クリスマスにはチキンやケーキ、お正月のおせちなど普段の食事と大きく変わる日々が続きます。そして年明けに「ベルトの穴の位置が変わった？スカートがきつい？」といった経験がある方もいらっしゃると思います。

コロナで以前に比べ自粛モードではありますが、クリスマスだから…お正月だからとついつい食べ過ぎてしまうことはありませんか？

しかし、せっかくのイベントを楽しんでいただくために、これだけは忘れない3ヶ条を今回お話いたします。

1、1日3食バランスよく食べる

(毎食、主食+主菜+野菜の組み合わせ)

2、野菜を毎食食べる

(1食で生野菜両手1杯または加熱野菜片手1杯)

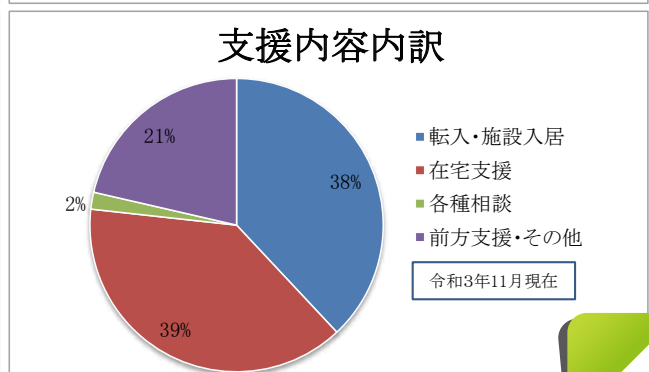
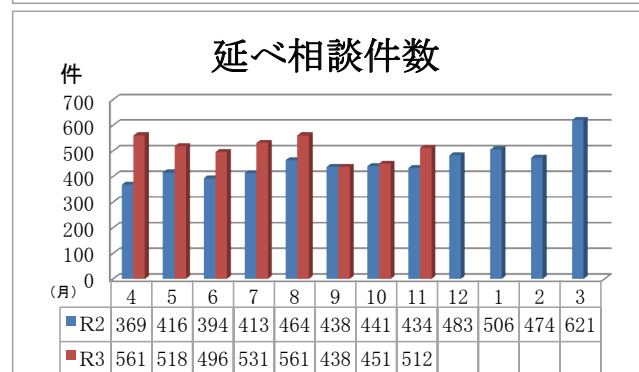
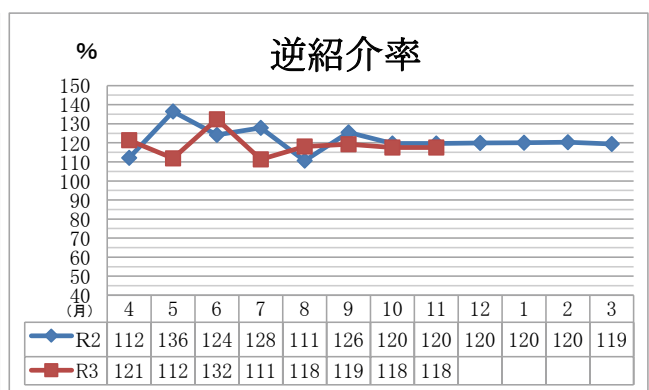
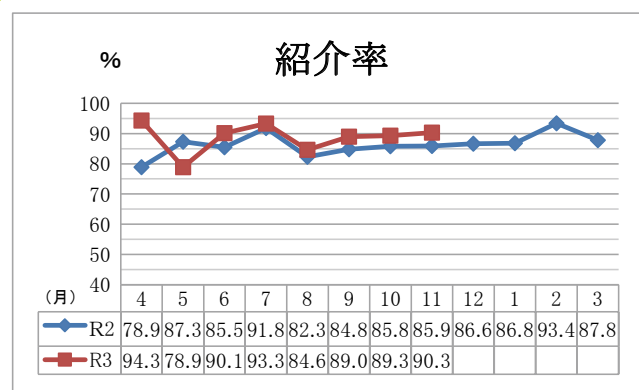
3、体重を毎日をはかる(増加がないよう注意)

イベントを楽しんだあとは、引きすることなく、普段の食生活へ戻すことが大切です。

皆さまにとってよい年になりますようにお祈り申し上げます。



地域医療連携室実績報告



外来診療担当医表

広島西医療センター

広島西医療センターホームページでも
紹介しています。ご利用ください。
<https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

…前号からの変更箇所

令和4年1月4日現在

		月	火	水	木	金	備 考
総合診療科	初 診	生田 卓也	西河 求	西河 求	生田 卓也/西河 求	生田 卓也	下記の専門領域以外の新患
	再 診	西河 求	生田 卓也	生田 卓也	西河 求/生田 卓也	西河 求	
内 科	1 診	呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)	下村壮司(血液)	広大(呼吸器)	再診外来予約制
	2 診	消化管/肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	
	3 診	内分泌代謝/糖尿病	／	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	
	4 診	血 液	黒田 芳明	広大(血液)	／	黒田 芳明	
	5 診	循 環 器	藤原 仁	広大(循環器)	藤原 仁	／	
	6 診	腎 臓	／	平塩 秀磨	／	佐伯 友樹	
脳神経内科	1 診	猪川 文朗	黒田 龍	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制
	2 診	牧野 恭子 (パーキンソン病)	渡邊千種(物忘れ) (第2・4・5)	黒田 龍	檜垣 雅裕 (頭 痛)	黒田 龍	予約制 PM
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	／	／	／	太田 逸朗	予約制 PM
禁 煙 外 来		／	担当医	／	／	／	14時～16時 予約制
小 児 科	一 般 外 来		大野 綾香	／	／	／	予約制
			／	／	大野綾香・(予防接種)	／	
	専 門 外 来	小児筋ジストロフィー	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	
		重症心身障害	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	
		発達外来	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	
		小児心身症	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	
	神 経 外 来		／	／	／	石川暢恒(第3)	
補 装 具		／	／	／	／	木村(第2・4)	予約制
外 科	初 診	石崎 康代	新患担当	嶋谷 邦彦	米神 裕介	嶋谷/石崎/米神	金曜日交代制
	再 診	嶋谷 邦彦	米神 裕介	石崎 康代	平田 嘉人		
整形外科	初 診	櫻井 悟	五月女 洋介	永田 義彦	／	根木 宏	木曜日手術日
	再 診	根木 宏	永田 義彦	根木 宏	／	永田 義彦	月曜日()手術
	再 診	(櫻井 悟/五月女洋介)	櫻井 悟/(根木 宏)	五月女洋介/(櫻井 悟)	／	櫻井 悟/(五月女洋介)	
形 成 外 科		／	藤高 淳平	／	／	藤高 淳平	
泌尿器科	1 診	永松弘孝/山中亮憲	／	永松 弘孝	小島 浩平	永松 弘孝	火曜日手術日
	2 診	安本 博晃	浅野 耕助	浅野 耕助	安本 博晃	浅野 耕助	
産 婦 人 科		新甲 靖	／	／	新甲 靖	／	予約制
皮 膚 科		水野 麻紀	水野 麻紀	／	水野 麻紀	水野 麻紀	水曜日手術日
眼 科		広大医師AM	／	／	／	／	第2・第4月曜日

- 予約窓口●
- ・ 患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時～16時までに予約センターへご連絡下さい。
 - ・ 医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
 - ・ 予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151 ■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室 ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140) FAX (0827)57-7701